

近況報告

わたすへの

11月は各地のイベントにもお声がけいただき、これまで「気にはなっていたけど」わたすへに  
なつかしく行けてよかった！という人たちの触れ合いが多かったなと感じています。  
特に、11月10日に行われた階上駅100周年のイベント「はしかみ駅前祭り」では、  
ご近所さんやそこに元々住んでいた方も、階上駅の沿線に住んでいて電車で  
来られた方もなど、79歳の「地」の人たちが集まったイベントだったように思います。

数十年前は賑わっていた駅前で元々商売をしていたであろう  
お父さん、お母さんたちも、みんな一斉に外に出ていきキラキラ  
した笑顔で、その光景を見ただけでも涙がにじみました。  
なかでも印象的だったのが、普段はクリーニング屋さんなのに  
当日は無料、大人にはコーヒエ、子どもにはお菓子を配って  
いたセキヤさん。「本当に嬉しい」という一歩でそのような  
行動力をしていさ姿がなんとも素敵で、こういうマインドを引き  
継いでいかなければなあと思いました。

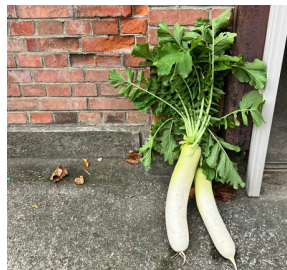


また、私はさらに駅前のエリアの可能性を感じました。なんというか、まだ「みんな目が死んで」  
ないんですね。何れから見たら下火に見えてしまうのかもしれないけれど、一人ひとりとお話をすると  
全然希望は捨ててきていないというか。数字だけでは到底測れない熱がそこにはあるように  
思います。そこに薪をくべらねばならないような活動も、今後していきたいなあと思いました。

## 地域とは、のこたえ

「地域」というと、どのような印象を受けでしょうか。Google先生によると、「ある観点  
から見た一帯の、かなり広い土地（の範囲）。」と1番上に出てきました。目で見える  
意味合いはきっとその通りで、区分けされたものではないと思うのです。

私は、「地域とは、「私」も含まれているもの」とよく自分に言い聞かせています。  
というの、地域のために「活動する」というのは、ある種自分を捨てて他者を優先に  
馴染んでいかねばならないとか、我慢しねばならないとか、若干の制限が  
ある感じがしる気がするんですね。しかし、「私も含まれている」と思うことで、  
そういう仲間同様な部分も大事にして、「私だけが地域のヒーローだー!!!」と、声をあげる  
ことができるというか、重くてもいいんだ！という感じにならぬ気がするんですね。（伝わる...）



79歳近いに意見が流れ、それが「風潮」と  
なるかもしれませんが、私はそんな考えを  
広めたい、もっとも地域の中でも重くさやない  
ような、でも愛をもち地域にいらねえ方々  
人が育つ文化をくわえていきたいです。

# Chat GPT に事業相談したら「サッ」とくる回答が来た。

私は都度伝えていますか？ わたすは 1 歩目の拠点であり、ここからの作戦会議になるような場所としてつくりました。なので、まだまだやりたいことがた——くあるのです。しかし、それにはお金がつかもの。日報ノートに向かつては事業計画をどうしていくかと務問しております。そこで、その気持を chat GPT にも「こんな事業をしたいんだけど、どう？」と投げかけました。そして、

## 2. 持続可能性の確保

初期段階では情熱が原動力になりますが、事業を長期的に続けるには収益モデルが不可欠です。

という回答が……。いや、もちろん頭では分かっていたし、こういうことはさんざん色んな方から言われてきたのですが、何にもない他者(?)から整然と言わゆる感じが、人から言われるより何となく乗りやすかったです……。私はほぼ「情熱のかたまり」なので。まあでも情熱が「基盤」にあつた上での、その糸道続のためにはちゃんと収益モデルをつくるのが大事ではあってことではね。くー、元張ります。

一方で、そういう分かりやすく目に見えることとはまた別で、新しいことを始めるにあたり、必要はかか最近でんとてよく自分の解がみえてきた気がします。それは、妄想する力、その解像度を高める力、そして何より「優しさ」。私が考える優しさとは、相手や物事の背景を想像する力を指します。このあたりを育んでいくことが今後のプレイヤー含み出の力にもなっていくのかはーと思っています。また「また」パーパーなので「実験に実験を重ね……」にたよっていきますが、そんな感じで「プロ社会実験を楽しんでほしい」と思っているので、ぜひ皆さんも生活のなかでそんな視点で楽しんでいただけたら！

## 編集後記



11月も終わり、師走ですね。もう日々が爆速に駆けぬけていくのが目の前のことが残像に見えます(笑)。皆さんにもお疲れさまです。

11月のわたすもたくさんの方に会っただけで、中にはリポーターの方もいたり実家がこの近くだという方もいたり。当時いた場所にまた来てさっかひになれていたらとても嬉しいななんて思っています。

また、スタッフやお手伝いも増えて、運営側も充実してきて少しに余裕がでてきました。またその人たちががんばる素敵で頼りになって。

毎日感謝しています。いつもありがとうございます。これからまた寒い冬が本格的にやってくるので、体調に気をつけてながら元気に会いましょう。

## 今月の一冊



最後はなぜかうまくいくイタリア人 (著・宮嶋勲)

著者が初めてイタリアに仕事で訪れ、イタリア人と仕事をすることになった際の、これまでの日本の生活とのギャップを綴った本。

仕事の開始時間が大幅に遅い……本来の目的をどうも寄り道に熱中してしまう……私たちが日本人の働き方からすると到底ありえないこと、知らず知らずイライラしたりしてしまうようなことが、実は大印にすべきことなのかもしれない。と気付かせてくれるような本です。「なんで今月までこんなことに悩んでいたんだろう？」と悩んでいるので、オススメの一冊。とても読みやすいのでぜひ手にとってください。